

修正後の第 7 次宮津市総合計画後期基本計画中間案等への意見・質問への対応

○第 7 次宮津市総合計画将来構想における将来像実現に向けた視点の変更について

意 見	対 応
(2) DX 推進 文章が分かりにくく、市民の生活がどの様に利便性と満足度向上に繋がるのか具体的に説明がいただきたい。	DX 推進を含む「将来像の実現に向けた視点」は、将来像の実現に向けて取り組む方策等を検討、実施する上で重視する視点を示したもので、<u>後期基本計画に記載している具体の方策を事業として実施する際に、デジタルの活用を重視していく</u>というものです。 具体的な市民の利便性向上や満足度向上は、具体の方策の実施によって実現するもので、計画には、スマート農業の実施による生産力の強化や自治会運営のデジタル化による省力化等を掲載しています。
(2) DX 推進 「DX 推進」と変更された方が分かりやすく、具体的な方向性も見えてくる。これで良いと思う。	—
(4) 多様性の尊重 ①言いたいことを全て盛り込んだので、すっきりしない文章になった印象はある。 ②一段落目の「抑制等につながることから」は、「抑制等につながります。」と言い切っても良いのではないかな。 ③漢字表記の統一をするべきではないか。 「まちを共に創る」「社会づくり」「地域づくり」はあえてこのように表記されているのか？ ④「人々が違いを」「様々なちがい」は統一されるべきと考える。	①② ご指摘のとおり文書が冗長になっていましたので、文章のつながりや順番等を見直し、整理しました。 ③第 7 次宮津市総合計画は将来像を「共に創る みんなが活躍する 豊かなまち “みやづ” 」としており、これにちなんで、「共に創る」は漢字表記としています。「共に創る」以外は「社会づくり」「地域づくり」「まちづくり」の様に平仮名表記にしています。 ④「違い」に統一しました。
会議や検討部会での意見を反映し、最終案では、少し難しい言葉でも説明で分かりやすく、なお丁寧だと感じた。	—

○第7次宮津市総合計画後期基本計画中間案(R7.10.16)時点について

意 見	対 応
〈農林水産業振興〉 スマート農業については、前段階として、先端技術を取り入れた生産機器の進歩は非常に早く、まずは情報収集、さらに、体験実習などを通して幅広く周知して、無駄のない進め方が理想的と考える。	スマート農業は、生産の省力化と品質の向上に資する重要な取組と考えています。 ご指摘いただいたご意見を念頭に置き、具体的方策の実施段階において無駄のないよう進めていきます。
〈子育て支援〉 産後ケア事業の内容をもう少し充実したものに検討した方が良いのではないかと。医療機関に宿泊するのではなく、お母さんが心身を休める場所(利用者が選べる)があればいいと思う。	産後ケア事業は助産師等の看護職が中心となり母子に対してケア支援を行う事業であり、本市では現在、医療機関に短期間宿泊する短期入所(ショートステイ)型のほか、通所(デイサービス)型も実施しています。 また、本年度から助産師が産婦宅を訪れる居宅訪問(アウトリーチ)型の実施に向け京都府助産師会と協議を進めているところです。
〈地域福祉〉 具体的方策の4が分かりにくい。 特に、「地域共生に資する活動の実現」と「各主体に対し積極的な活動への参画を促す環境整備を推進」が分かりにくい。 地域共生に向けた住民や事業者の自主的で創意工夫ある活動を様々な場面で方策により支援しますという理解で良いか。	ご指摘どおりの意味合いになります。 分かりにくいとのご意見をいただきましたので、次のとおり修正します。 【修正前】 地域共生に資する活動の実現に向けて、住民の自主性や創意工夫が最大限活かされるよう、各主体に対し積極的な活動への参画を促すなど環境整備を推進します。 【修正後】 地域共生社会の実現に向けて、住民や各主体の自主性や創意工夫が最大限活かされるよう、<u>様々な場面への積極的な参画を促すとともに、各施策による支援や環境整備を推進</u>します。
テーマ別戦略4に記載されている高齢化率の小数点以下の記載方法が統一されていない。	「44.8%」に統一しました。
現状と課題をしっかりと踏まえることで、厳しい将来への市の向き合い方が表れてくると思う。 その中で、独自の豊かな地域社会像を市民に明示していただくことを期待する。	—

今後、完成した総合計画を宮津市民に周知をして実践していく必要があるが、成功には市民全員の意識を統一させて実践すべきと考える。 せっかく出来上がった計画が「宝の持ち腐れ」にならないよう、いかに1人でも多くの宮津市民の目に触れ周知ができるかが今後のポイントになると思うので、完成後の周知活動について教えていただきたい。	市ＨＰに掲載するとともに、広報みやづに特集ページを設け、後期基本計画の内容等について、市民の皆様に周知する予定としています。
非常にボリュームのある内容の濃い計画であり、この内容全てを市民に把握していただくことは非常に困難と思われる。内容を簡潔に絞った要約版の計画は策定できないのか。	第7次宮津市総合計画の概要版については、将来構想の内容について作成していることから、今回の将来構想の見直しにあたり修正を行う予定としています。 後期基本計画の概要版としては、広報みやづに特集ページを設け、後期基本計画の内容等について、市民の皆様に周知する予定としています。
目標値を設定して、5年後の宮津市の姿を描き、それを達成するための具体的な方策(アクションプラン)を決定いただいている。 目標達成のためには、定期的な進捗管理が非常に大切であるし、併せて市民に対する定期的な公表が必要と考える。今後の動向について、どのように考えているのか。	前期基本計画については、計画に示した具体の方策を実現するための具体的な事業や年度ごとの数値目標等を実施計画として定め、毎年度点検を行っています。点検結果につきましては、有識者会議でご議論いただくとともに、市議会に決算資料としてお示しし、市ＨＰにも掲載しています。 後期基本計画についても、同様に実施計画を定め、毎年度点検・公表していくこととしています。